

2023年7月20日
株式会社SVPジャパン

SVPトレンド調査 「Z世代の注目テクノロジーの認知・利用実態について」 ～メタバースよりもChatGPTの認知率・関心度が高い～



会員企業に対して公開情報を用いたビジネス情報提供を行う、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、「Z世代の注目テクノロジーの認知・利用実態について」をテーマにインターネット調査を実施。一都三県（東京都/埼玉県/神奈川県/千葉県）の男女1,000名が回答。その調査結果をレポートにまとめた。

■ 調査目的

Z世代の注目テクノロジーの認知・利用実態について調査することで、世代における新しいテクノロジーへの受容性や活用方法、普及に向けた今後の課題を把握する。

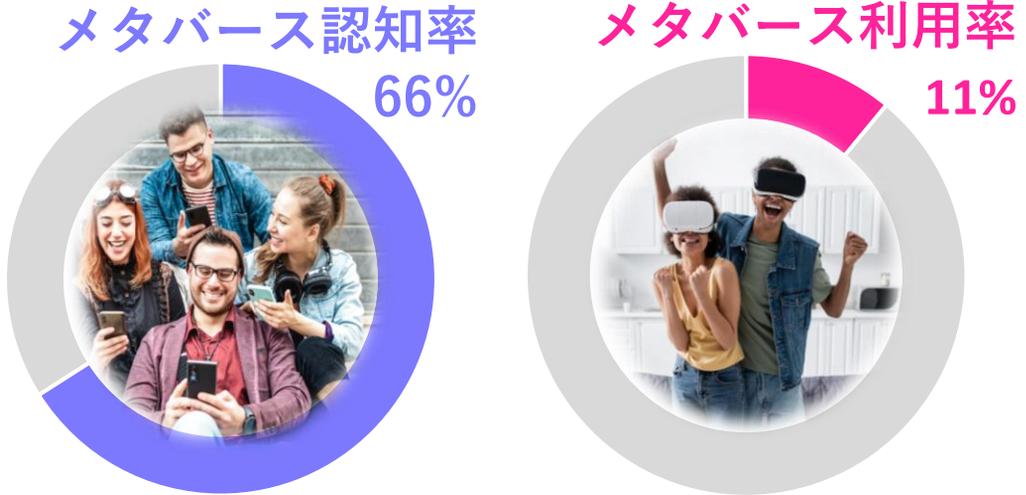
■ 調査概要

調査時期	2023年6月
調査方法	インターネット調査
調査対象	18歳～26歳、30歳～42歳の男女
有効回答数	18歳～26歳 男女500名、30歳～42歳 男女500名 の合計1,000名
調査機関	アイブリッジ株式会社

■ 本レポート構成

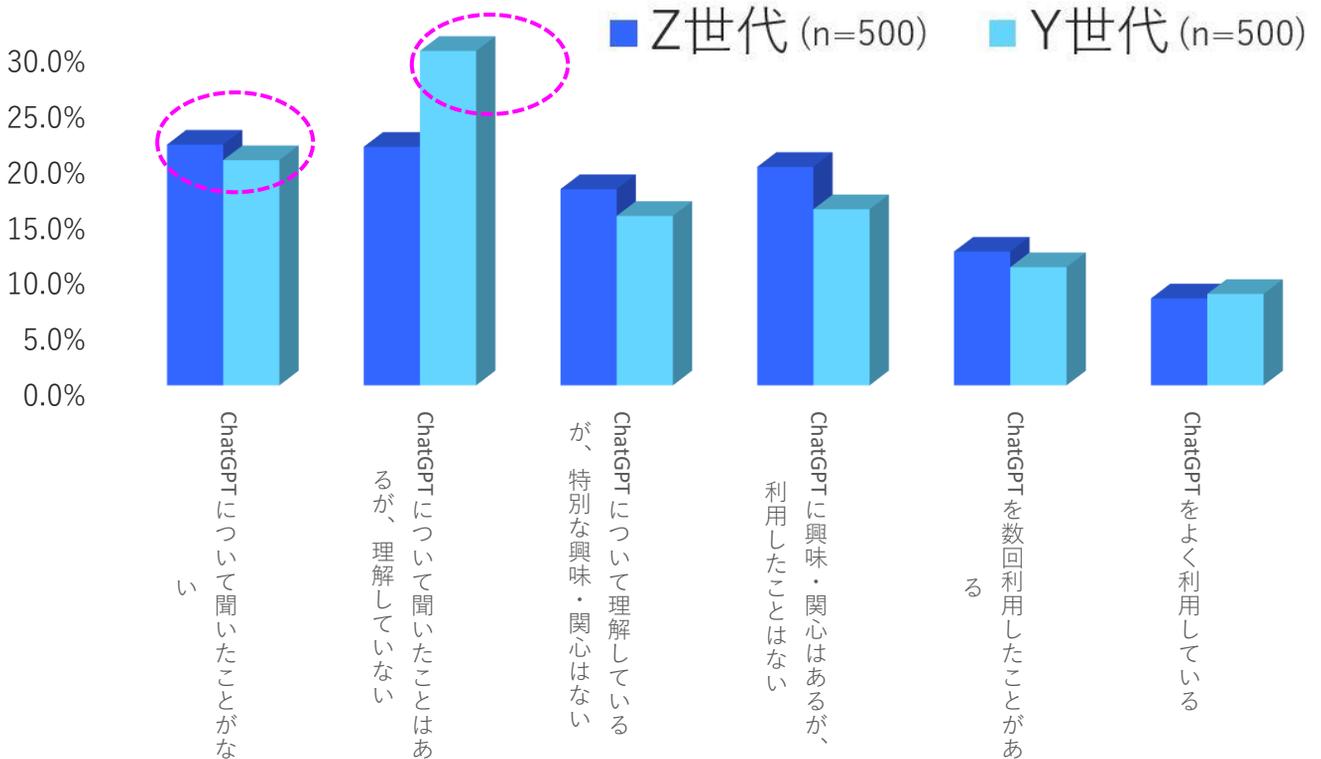
- ・調査概要
- ・調査結果サマリー
- ①《メタバースの認知・関心・利用》②《バーチャルショッピングの認知・関心・利用》③《VR機器と仮想通貨の利用の現状》④《ChatGPTの認知・関心・利用》⑤《課題と提言》
- ・アンケート調査結果（設問8）

Z世代の66%がメタバースを認知、利用率は11%
主な利用用途は、仮想体験とゲーム、友達との交流



- ・Z世代のメタバースの認知率は66.0%で、Y世代よりも12.8%低い。現在の利用者は全体の11.0%、興味・関心を持っている層は12.4%。
- ・Z世代の利用用途は「仮想体験」と「ゲーム」「友達との交流」に集中。同世代の特徴でもある、自己研鑽のための「教育」での活用も高い。

■設問例 「ChatGPTの認知・関心・利用について」



今話題の、「ChatGPT」について尋ねたところ、『ChatGPTについて聞いたことがない』との回答が、Z世代で21.6%、Y世代でも20.2%となっている。また利用経験のある人（『よく利用している』+『数回利用したことがある』）は、Z世代19.8%、Y世代18.8%で2割に達してない結果となった。

詳しくは、本レポートに記載。

■本レポートの購読について

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

ご希望の場合は、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する経済レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員になっていただきますと、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

お問い合わせは、[こちらをクリック](#)

資料請求

お問い合わせ

SVP会員の方は、[こちらをクリック](#)

会員サイト

■次回のテーマ

8月のテーマは、「Z世代のSNSやメディアに対する意識について」を予定しております。

SVPトレンド調査更新スケジュール・・・毎月第3木曜日の発刊を予定

[会社概要]

社名： 株式会社SVPジャパン
代表取締役： 橋本 雅
所在地： 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日： 1974年7月1日
事業内容： 会員制のビジネス情報提供サービス
URL： <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン デジタルマーケティング部
info@svpjapan.com

※本レポートの内容、画像等の一部もしくは全部の複製、無断での転載・複写をお断りいたします。